

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 兵庫県立佐用高等学校体育館 Dコート

試合区分: No. 202 成年女子 1回戦

期 日: 2006(H18)年10月1日(日)

主審: 安井 俊行

開始時間: 10:00

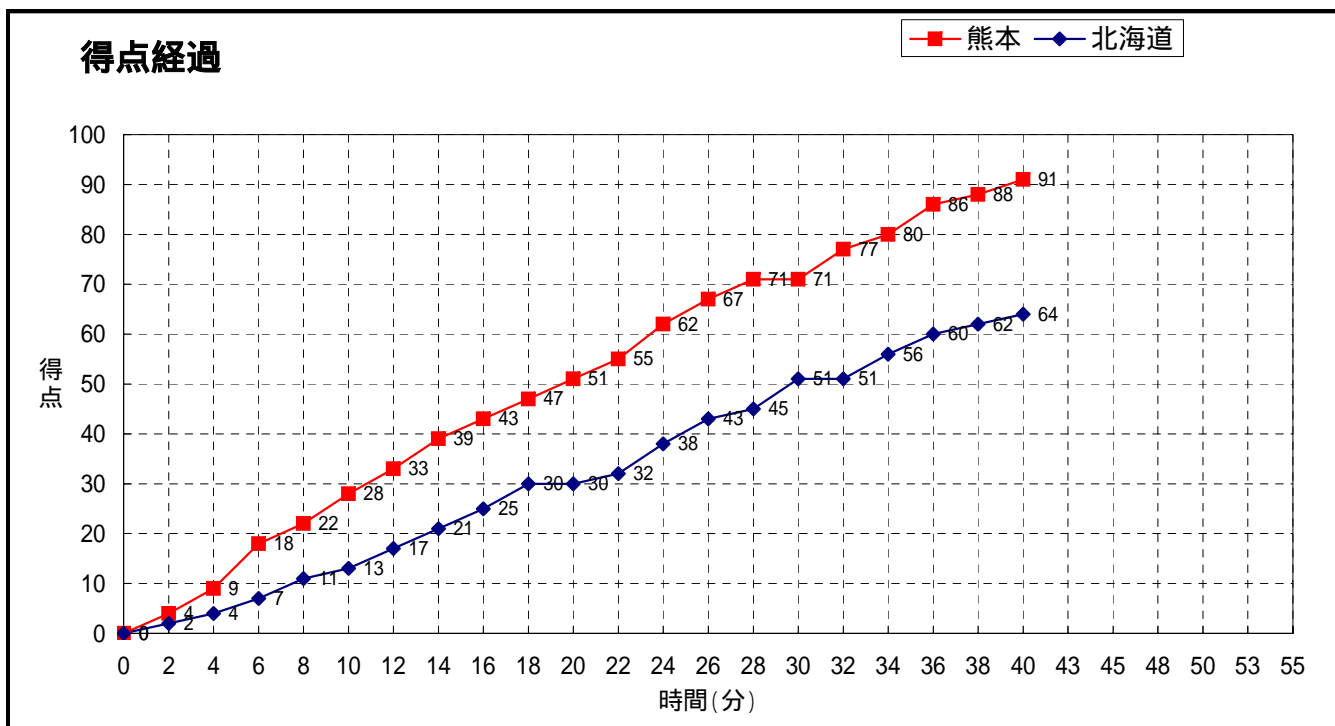
副審: 隅谷 篤司

終了時間: 11:16

入場者数: 350

熊本						91						64						北海道					
(九州)																		(北海道)					
						28 -st1- 13																	
						23 -2nd- 17																	
						20 -3rd- 21																	
						20 -4th- 13																	
						-OT1-																	
						-OT2-																	
						-OT3-																	
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F								
4	*	村上 好美	4	0	2	0	0	4		佐渡 尚香	2	0	1	0	1								
5	*	土橋 里美	15	1	6	0	3	5		仁部 さおり	2	0	1	0	1								
6		川田 朋恵	0	0	0	0	0	6		高橋 夏樹	0	0	0	0	1								
7		天川 道代	4	0	2	0	0	7		鶴川 真希	0	0	0	0	0								
8	*	坂田 奈菜実	8	0	3	2	2	8	*	斉藤 いずみ	0	0	0	0	0								
9	*	守田 佳代	6	0	3	0	0	9		上野 幸恵	2	0	1	0	1								
10		前田 由紀子	0	0	0	0	1	10	*	大鷹 さおり	29	1	12	2	1								
11		吉田 舞	10	0	5	0	0	11	*	山内 もえ	3	0	1	1	0								
12		中島 雪枝	0	0	0	0	0	12		恩田 倫恵子	4	0	2	0	1								
13		馬場 晶子	16	2	3	4	2	13	*	鈴木 あゆみ	18	1	6	3	0								
14		内田 貴子	9	3	0	0	0	14	*	高橋 明未	0	0	0	0	1								
15	*	米村 知紗	19	0	9	1	1	15		塩原 由美	4	0	2	0	2								
コーチ		鹿毛 美智子						コーチ		幸丸 政実													
合計			91	6	33	7	9	合計			64	2	26	6	9								

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、熊本#9守田のシュートでゲームがスタート。#15米村の連続シュートで流れをつかんだ熊本。対する北海道はシュートをうつものの、厳しいディフェンスにあり、得点に結びつかなかったが、#10大鷹のシュートが決まり開始3分7-2とする。熊本は#15米村のスティールなどで得点を重ねる。北海道も#13鈴木が3Pシュートで追いつき残り4分で16-7。熊本はしっかりした守りからリバウンドも支配し、オールメンバーチェンジをして流れを変えたい北海道に流れを渡さず、熊本が28-13のダブルスコアで終わる。

第2ピリオド、熊本#9守田がシュートを決めると、すかさず北海道#10大鷹が得点する。熊本はしっかりボールをさばきインサイドからの攻撃で得点を重ねる。北海道#13鈴木がバックシュートが決まり、残り5分で39-23と追い上げたが、熊本#11吉田の速攻なども決まり、熊本51-30で終わる。

第3ピリオド、熊本#5土橋の得点から始まり、北海道#12恩田がすぐ得点し、北海道はゾーンディフェンスに切り替えるが、熊本がオフェンスリバウンドを支配し、得点を重ねる。北海道も#4佐渡のスティールで追いつく。熊本は連続3Pシュートが決まり、残り5分で65-38とする。北海道も#15塩原のミドルシュート、#13鈴木のポストプレーで着実に得点を重ね、#10大鷹の3Pシュート、速攻、#13鈴木のリバウンドでゾーンディフェンスにやや苦しむ熊本を71-51と前半と得点差を大きく広げられることなく終わる。

第4ピリオド、熊本が開始そうそう3Pシュートを含む、4連続ポイントで80-51とリードを広げてのスタートとなる。北海道もシュートをうつがなかなか決まらず、#13鈴木、#10大鷹のシュートで、ようやく残り7分で80-54とする。熊本は、北海道のゾーンディフェンスが整わないうちに速い攻撃で得点を重ねる。熊本#15米村のリバウンドシュートなどで点差を広げる。北海道も#13鈴木が3Pシュート、ポストシュート、#5仁部のドライブイン、#10大鷹のスティールからのシュートが決まり、反撃するもとどかず、熊本が91-64で勝利する。

担当者: 小谷 領人(のじぎく兵庫国体佐用町実行委員会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会